

【生体認証における偽造検出】 SenseTime

①要約：

このアイデアは、顔認識技術を用いて偽造写真の突破を防止するための特許であり、主に監視カメラやビルの入口のセキュリティシステムに応用されます。導入企業であるセンスタイムは、中国を中心に顔認識技術の開発を行っており、高い市場ニーズがあります。

②目的：

このアイデアの目的は、偽造写真によるセキュリティシステムの突破を防止し、本物の人物を正確に認識することで安全性を確保することです。センスタイムは、自動運転技術や防犯システムなど、様々な分野でこの技術を活用し、顧客のニーズに応えることを目指しています。

③新規性：

このアイデアの新規性は、ステレオカメラや動画と静止画の比較など、偽造写真を判別するための独自の手法が取られている点にあります。顔認識技術そのものは一般的ですが、これらの独自の判別手法によって、より高い精度で偽造写真を検知することが可能となっています。

④独自性：

このアイデアの独自性は、センスタイムが開発した特許技術を通じて、他社にはない顔認識技術の応用が可能となっている点にあります。カメラを用いた自動車認識技術やビル入口のセキュリティシステムなど、幅広い分野においてセンスタイムの独自性が発揮されています。

⑤経済価値：

このアイデアは、顔認識技術の進化により、セキュリティシステムの高度化や効率化が可能となり、顧客からの需要が高まることが期待されます。センスタイムは、自動運転や防犯システムといった分野でのパートナーシップを築くことで、顧客に高い経済価値を提供することができます。